

(別紙5)

整理番号 2021P-094
補助事業名 2021年度 青少年の健やかな成長を育む活動 補助事業
補助事業者名 公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

薬物乱用の防止を図る上で、まだ薬物を使用したことのない青少年に対して薬物乱用による精神的・身体的危害の恐ろしさを普及啓発することは最も効果があるといわれていることから、青少年に対して大麻、覚醒剤等の薬物乱用が非常に危険であり、手を出してはならないというメッセージを効果的に伝えるため、球場での映像放映による端的なメッセージの伝達と情報誌による薬物乱用防止指導員からの個別の情報伝達の質の向上を目的とする。

(2) 実施内容

青少年薬物乱用防止のための啓発広報事業

・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の啓発メッセージ映像(110組)を製作し、日本プロサッカーリーグ(J1、J2、J3の一部)及びプロ野球機構並びに高校野球地区予選等の放映用として各都道府県に配布した。

また、都内2カ所(渋谷、原宿)の街頭ビジョンで放映を実施した。



※原宿駅前街頭ビジョンでの放映

・情報誌「ニュースレター」の発行

(<http://www.dapc.or.jp/newsletter/index.htm>)

ニュースレター第105号(2021. 9)を発行(20,000部)し、全国の薬物乱用防止指導員、各都道府県、関係省庁、関係団体等に配布

2 予想される事業実施効果

青少年薬物乱用防止のための啓発広報事業

① 啓発メッセージ映像を「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の期間中に各試合会場で放映する予定としていたが、本年度は昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響に伴い観客数の制限を行う会場が多く、コロナ禍以前に比べ訴求対象者が減少したことから予定した効果を下回ることとなった。

しかし、都内2カ所の街頭ビジョンでは普及運動期間中連日放映を実施したことから、薬物乱用防止に関する青少年の意識の高まりに寄与できた。

② ニュースレターの発行・配布により、各地域で活動する薬物乱用防止指導員等の啓発活動技能の向上を図ることができたので、今後とも、これら指導員等の活発化が期待される。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

○ 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の啓発メッセージ映像 110組 (2枚セット)

【基本編】



◆薬物乱用防止啓発映像「基本編」①	◆薬物乱用防止啓発映像「基本編」②	◆薬物乱用防止啓発映像「基本編」③

【大麻解説編】



◆薬物乱用防止啓発映像「大麻解説編」①	◆薬物乱用防止啓発映像「大麻解説編」②
<p>大麻の乱用が増え続けています</p>	<p>大麻には危険な成分が含まれています</p>
<p>大麻事犯検挙者の45%は30歳未満の若者でした。</p>	<p>いま社会不安やストレスを背景にして、異なる乱用拡大が危惧されています。</p>
<p>誤った情報が拡散され</p>	<p>薬物乱用はダメ、ゼツタイ。愛する自分を大切に！</p>
<p>不正取引や無許可の大麻草栽培など、違法行為も増えています。</p>	<p>薬物で悩んだら 少しでも早くご相談ください</p>

○ニュースレター第105号 20,000部

(<https://dapc.or.jp/newsletter/index.htm>)



(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター（コウエキザイダンホ
ウジンマヤクカクセイザイランヨウボウシセンター）

住 所： 〒107-0052
東京都港区赤坂2-4-1 白亜ビル9階

代 表 者： 理事長 藤野 彰（リジチョウ フジノ アキラ）

担 当 部 署： 総務部（ソウムブ）

担 当 者 名： 役総務部長 白井 正夫（ソウムブチョウ シライ マサオ）

電 話 番 号： 03-5544-8436

F A X： 03-5544-8473

E - m a i l： shirai@dapc.or.jp

U R L： <http://www.dapc.or.jp>